

令和8年度 入学者選抜に向けた Q&A 集（中学3年生の皆さんへ）

はじめに

この Q&A 集は、本校（大阪府立むらの高等支援学校）がどのような学校であるかを広く皆さんに知っていただくことを目的にまとめたものです。特に現在、高校進学について真剣に悩み、考えている中学3年生や保護者、先生方には、出願先を考える際の参考にしていただければと思います。

出願について

Q：むらの高等支援学校を受験したいのですが、どのような手続きが必要ですか？

- ▶入学者選抜に関する情報は、大阪府教育庁 HP「[府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜](#)」をご確認ください。こちらの HP に記載のない情報や分からない点がある場合は、在籍の中学校・中学部を通じて大阪府教育庁 教育振興室支援教育課「学事・教務グループ」へお問い合わせください。

Q：入学者選抜の適性検査は、どのような問題でしょうか？

- ▶こちらについても大阪府教育庁 HP「[過去の適性検査問題](#)」のページをご覧ください。

めざす学校像について

Q：むらの高等支援学校が、めざす学校像を教えてください？

- ▶本校は、『チャンス・チャレンジ・チェンジ』をキーワードとして、**生徒全員が就労を通じた社会的自立をし、生き生きと暮らしていける人材を育成する学校**です。授業や実習、行事、地域社会が「天の川カフェ」等を拠点につながりながら学習を進めていきます。3年間のスモールステップで、生徒個々に適した働き方（ジョブマッチング）に結びつけ、将来的に長く働き続ける力を育てます。

Chance!

Challenge!

Change!

就労を通じた社会的自立をし、生き生きと暮らしていける人材を育成する学校

アドミッションポリシー（求める生徒像）について

Q：むらの高等支援学校のアドミッションポリシーを教えてください？

- ▶**アドミッションポリシー（求める生徒像、期待する生徒の姿）**は次のとおりです。

- 1) 卒業後の就労を目標に、日々努力する生徒
- 2) 職業に関する学習や職場実習などに、積極的にチャレンジする生徒
- 3) 規則正しい生活習慣を身につけ、学校生活を大切にする生徒
- 4) 社会や学校のルールを守り、人や社会とのつながりを大切にできる生徒

教育内容の特色について

Q：教育内容の特色など、むらの高等支援学校はどのような学校でしょうか？

- ▶本校の教育活動は「卒業後、就労をめざしたい」という生徒の自発的なモチベーションをベースにしています。様々な課題を乗り越えて就労により自立するという目標を達成するためには、本人の意欲と共に保護者の皆様や関係機関の支援・連携が大切になります。進路選択にあたり、本校の教育方針・内容を十分ご理解いただいたうえで、保護者・担任の先生・進路担当の先生とよく相談して、ご本人が自己選択・自己決定し、受験するようお願いいたします。



学校教育目標

自立

社会人として必要な基本的な生活習慣や、規律・規則を守るモラルを身につけるよう指導の充実に努める。

自主

積極的に地域社会に学習の場を求め、知識や技能を高めるとともに、働く責任と社会に役立つ喜びを知り、社会の中で主体的に役割を果たす態度を育成する。

挑戦

自己肯定感を育み、可能性を信じ、自らを高め、挑戦する態度を培う。

共生

生命や人権を尊重する教育を推進し、仲間と切磋琢磨し、共に成長する心を養う。

本校の教育内容の特色

- ① **自立、自主、挑戦、共生**の4つのキーワードを**学校教育目標**として、すべて教育活動を行っています。
- ② 全ての教科で「**卒業後の社会生活に関連した学習内容**」を精選しています。
- ③ 週のおよそ半分の授業が「**作業や職業に関する学習・実習**」です。**働く気持ちと態度**を育てます。
- ④ 1年生から**職場実習**に参加します。実習や校外行事は、**現地集合現地解散**が基本です。**自力通学だけでなく独力で移動できるようご家庭での協力**をお願いします。
- ⑤ 放課後に部活動を実施しています。

高等支援学校について

- 選抜により入学者を決定
 - 公共交通機関等での自主的な通学
 - 通学バスの運行及び学校給食がない
 - 前期・後期の2期制
 - 職業に関する専門教科（専門学科・職業共通）を設置
 - 早期から職場実習等を実施
 - 「支援学校高等部」卒業資格
- ▶ **全員が就労を通じた社会自立をめざして学んでいます。**

学校生活について

Q：登下校の時間は何時ですか？

- ▶登校時間は、8時30分から8時55分です。
下校時間は、15時35分ですが、部活動がある場合は、17時00分です。

Q：スクールバスは利用できますか？

- ▶スクールバスはありません。電車、バスなどの公共交通機関を利用して通学します。

Q：自転車通学はできますか？

- ▶1年後期より自転車通学は可能（自転車保険に必ず加入）です。
1年前期は、学習の一環として公共交通機関を利用し、通学としています。

Q：給食はありますか？

- ▶給食はありません。食堂はありませんので、お弁当を持参してください。
登校途中にコンビニエンスストア等で購入していただいても結構です。

Q：学校に携帯電話を持ってもよいですか？

- ▶携帯電話を持ってもかまいません。
学校にいる間は、鍵のかかる貴重品ロッカー（個人用）に入れて保管します。

Q：制服はありますか？

- ▶指定の制服、体操服、体育館シューズ、専門学科の作業服がありますので、これらを購入し、着用していただきます。作業服や作業に必要な物品は、学科によって異なります。

Q：日々の学習や活動が分かる「連絡帳」などがありますか？

- ▶「連絡帳」と「配付物ファイル」があります。「連絡帳」には、学習内容や振り返りを自分で記入します。担任と保護者の連絡欄も設けています。

Q：授業中に ICT 機器を使用していますか？

- ▶各生徒がタブレット端末を使用し、授業での学習はもちろんのこと、学校生活の報連相など、さまざまな場面で活用しています。

Q：3 学期制ですか？

- ▶2 学期制です。前期（4月から9月）と後期（10月から3月）の間に秋休みがあります。

Q：むらの高等支援学校を卒業すると、どのような卒業資格になりますか？

- ▶本校は支援学校ですので、「支援学校 高等部 卒業」となります。

授業・教育課程（カリキュラム）について

Q：授業は何分ですか？

- ▶ 1 限「自立活動」は、30 分です。2 限から7限の「通常授業」は、45 分です。
授業間の休み時間は、10 分です。昼休みは、50 分です。

Q：各教科の授業は、どのように行われていますか？

- ▶ 全ての授業で、卒業後の社会生活や就労に関連づけた学習をしています。
例えば、国語では実習日誌や実習先へのお礼状などの書き方を学習したり、数学では交通費や買い物に必要なお金の計算などを学習したりします。

Q：授業は、何人で行っていますか？

- ▶ 各授業によって人数は異なります。
クラスで行う授業は、10～11 人です。
学年で行う授業は 32 人です。また、グループごとに行う授業は、5～8人で行っています。

Q：授業は、何人の先生が担当していますか？

- ▶ 授業では、複数の教師が指導・支援にあたるチームティーチングを基本としています。
ただし、学習の目的によっては、単独の教員が指導にあたる場合もあります。

Q：定期テストは、ありますか？

- ▶ 全校一斉で行う定期テストは、実施していません。
教科によっては、小テストを授業内で行うことはあります。

部活動について

Q：どのような部活動がありますか？

- ▶ 現在、スポーツ部、ICT部、美術部、音楽部、ハンドメイド部があります。

Q：部活動は、全員参加ですか？

- ▶ 毎年、参加届を提出した希望者のみが、活動しています。

Q：部活動は、週にどれくらい活動していますか？

- ▶ 基本は週 2 日（火、木曜日）に活動しています。活動時間は約 1 時間です。

Q：部活動を、休日に行うことがありますか？

- ▶ 普段はありません。ただし、大会前や演奏発表前などに限って活動することがあります。

教育課程（各科目）	
・普通教科	国語、社会、数学、理科、保健体育、家庭、情報、音楽、美術、外国語
・職業に関する専門教科《職業共通》	流通サービス、キャリアデザイン、清掃、接客（カフェ）
・職業に関する専門教科《専門学科》	リビングデザイン科（福祉分野、クリーニング分野） プロダクトデザイン科（木工分野、窯業分野） フードデザイン科（農園芸分野、食品加工分野）
・LHR	特別な教科 道徳、特別活動、総合的な探求の時間
・自立活動	

職業に関する学習について

Q：職業に関する学習には、どのような授業がありますか？

- ▶「職業専門学科」と「職業共通科目」があります。
時間割（週）の約半分は、職業に関する学習となります。

Q：「職業専門学科」には、どのような学科がありますか？

- ▶3つの学科と6つの分野があります。
リビングデザイン科 ⇒ 福祉分野・クリーニング分野
プロダクトデザイン科 ⇒ 木工分野・窯業分野
フードデザイン科 ⇒ 農園芸分野・食品加工分野
1年後期から卒業までの期間は、選択履修した所属学科（分野）を継続して学習します。

Q：「職業専門学科」の所属は、どのようにして決まるのですか？

- ▶1年前期はオリエンテーション期間とし、すべての学科（分野）に取り組みます。
その後、希望調査や作業の様子などをもとに決定します。

Q：「職業専門学科」は、途中で変更することはできますか？

- ▶原則、変更することはできません。

Q：「職業専門学科」の授業では、どのようなことを学習するのですか？

- ▶それぞれの学科の授業を通して就労に（働くうえで）必要な基本的な力を身につけていきます。
▶「働く意欲」「社会人としてのマナー（あいさつ、言葉づかいなど）」「安全、衛生意識」「体力や忍耐力」「時間管理」「協調性」「コミュニケーション」などを、どの学科でも共通して学びます。

Q：「職業専門学科」の所属によって、職場実習先や卒業後の進路先は決まりますか？

- ▶職場実習先や卒業後の進路先が、学科によって限定されることはありません。

Q：「職業共通科目」には、どのような科目がありますか？

- ▶「清掃」、「流通サービス」、「キャリアデザイン」、「接客（カフェ）」があります。

Q：「職業共通科目」も、選択履修するのですか？

- ▶「職業共通科目」は、すべての生徒が3年間を通じて学習します。

Q：接客（カフェ）とは、どのような授業ですか？

- ▶地域の方も利用できる「天の川カフェ」の営業や接客を通して、対人場面で求められるコミュニケーション能力を養い、組織の一員として連携する姿勢とスキルを身につけています。
▶本校の特色の一つである「天の川カフェ」は、[MURANO キャリアプラン](#)の重要なキーワード「Link～つながる～Link」の象徴（シンボル）となっています。

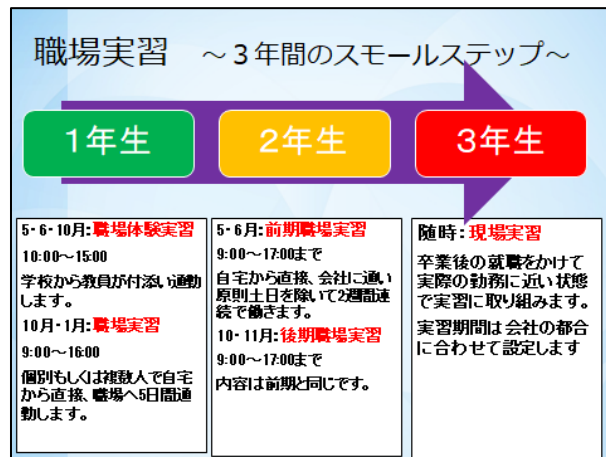
職場実習について

Q：校外で取組む職場実習などがありますか？

- ▶在学1年次の早期から3年間のスモールステップで、企業等での職場実習を計画的に行うことで働く力を高めていきます。

Q：職場実習には何日間、取組むのですか？

- ▶1年生は、年に3回「職場体験実習」を行います。
また、10月と1月には生徒それぞれが別々の実習先で5日間の「職場実習」を行います。
2年生では、10日間の「職場実習」を5月頃と11月頃の年2回行います。
3年生では、雇用をみすえた企業での「現場実習」を随時行い、進路先を決定します。



Q：職場実習は休日にもありますか？

- ▶3年生の雇用をみすえた企業での現場実習については、土日や休業中に実習に取組む可能性があります。

Q：実習先の地域を教えてください？

- ▶枚方市周辺や居住地の近くとは限りません。職業体験や雇用を考えていただける企業ならば、自宅から通勤可能な圏域（公共交通機関利用で1時間～1時間30分程度まで）を基本と考えています。

Q：実習を受け入れる企業の開拓は、自分で行うのですか？

- ▶いいえ。進路担当の教員を中心に全教員で企業開拓にあたり、実習や雇用の受け入れ先を広げています。

Q：職場実習では、どのような力を身につけていくことになりますか？

- ▶実際の職場で経験やスキルを積み上げることで社会人としてのルールやマナー、挨拶、報告・連絡・相談、さまざまな人と関わること、健康管理、規則正しい生活リズムなど働くために必要な力を身につけていきます。入学以前からも、これらのことを中学校や家庭で地道に取り組んでおい

企業が求める人材

- ・本人に働く意欲、働きたいという気持ちがある
- ・基本的な生活習慣が身に付いている
- ・健康で体力があり、休まない
- ・明るく元気で、大きな声で挨拶ができる
- ・素直に指示を聞き入れ、報告連絡相談ができる
- ・チームワークを保つ協調性がある
- ・作業に持続して取り組む力がある
- ・保護者の支援、バックアップが十分にある

進路指導について

Q：むらの高等支援学校の卒業生は、どのような進路先へ進まれていますか？

- ▶ほとんどの卒業生が企業などに就職しています。本校での就労は、「障がい者雇用」枠としての就職となります。

Q：就職以外の進路先を教えてください？

- ▶職業訓練校（職業能力開発校）や就労移行支援事業所に通い、卒業後も企業就労に向けてチャレンジしています。

Q：卒業後、大学への進学を希望したいのですが？

- ▶本校での3年間の学習を修了すると、知的障がい支援学校の卒業となります。本校では、卒業後の就労をめざすカリキュラムとなっていますので、進学に向けた学習保障はできません。

Q：就職先としては、どのようなところがありますか。

- ▶小売店などのバックヤード作業、ビルメンテナンス等の清掃作業、高齢者介護施設での介護補助、工場内での製造、倉庫内でのピッキング作業、事務補助などさまざまな業種になります。

Q：現場実習先（就職先）は、どのようにして決めるのでしょうか？

- ▶職場実習でのさまざまな職種経験を積上げていく中で自分に合った仕事（ジョブマッチング）を生徒本人や保護者の方、教員と一緒に考えていきます。2年生の12月からは進路希望調査をもとにした進路三者懇談を定期的に行い、現場実習先の開拓、調整に入ります。卒業後も長く働き続けられることを願って、生徒が続けられる仕事を支援していきます。

Q：正規社員または契約社員など、雇用形態（条件）はどのようになりますか？

- ▶雇用形態としては、契約社員での雇用が多いのが実情です。進路支援を行う際に、最低賃金を下回らない、社会保険のある雇用条件の企業開拓を基本とし、ハローワークを通した求人手続きを必ず行うこととしています。

Q：卒業後、働き始めた時もフォローしていただけますか？

- ▶在学中から地域の支援機関（障がい者就業・生活支援センターなど）と連携し、進路先決定後には移行支援ケース会議を設定し、引継ぎを行っています。入社後は不安な時期を乗り越えるために、学校だけでなく、障がい者就業・生活支援センターなどとともに進路先を訪問し、アフターフォロー支援に取り組んでいきます。
また、同窓会を設立し、卒業後も学校に集まる機会を作ることで、教員が直接相談にのったり、卒業生同士が交流したりする機会をつくっています。

その他

Q：校外学習（遠足）などの行事はありますか？

▶各学年、年1～2回の校外学習を実施しています。

また、学校祭（舞台発表、作品展示、製作物品販売）やミニ体育祭（生徒会主催行事）など、さまざまな行事に取り組んでいます。

Q：宿泊行事はありますか？

▶2年生で2泊3日の研修旅行を実施しています。

Q：授業料は1年間にどれくらい必要ですか？

▶授業料は無料ですが、諸費が必要です。例年、1年生入学準備として3月に「制服等」の購入費用が約9万円程度、入学後に宿泊行事などの積立も含め、4期に分けて年間約12万円程度を徴収しています。また、作業服や作業に必要な物品の購入費用（約5000円～9000円程度を9月ごろに徴収）は、学科によって異なります。（金額については、変動することがあります）

▶就学奨励費の制度が利用できます。

Q：「個別の教育支援計画」は作成していますか？

▶本校では全生徒の「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」、「個別の移行支援計画」を作成しています。また、出身の中学校・中学部が作成し、卒業時に返却された計画も引継ぎをさせていただきますので、入学時にご提出ください。

